

大島商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	英語コミュニケーション
科目基礎情報					
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	商船学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	Living Grammar - New Edition - コミュニケーションのためのベーシック・グラマー				
担当教員	松島 亜香里				
到達目標					
このクラスでは、実践的な英語の運用能力を要請する。 (1) 英語の発音が正しくできる。 (2) 自分の意志を英語で伝えることができる。 (3) 相手が話す英語の内容を聞き取り、理解することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	英語の発音が正しくできる。	英語の発音がある程度正しくできる。	英語の発音が正しくできない。		
評価項目2	自分の意志を英語で伝えることができる。	自分の意志をある程度英語で伝えることができる。	自分の意志を英語で伝えることができない。		
評価項目3	相手が話す英語の内容を聞き取り、理解することができる。	相手が話す英語の内容を聞き取り、理解することができる程度である。	相手が話す英語の内容を聞き取ることも、理解することもできない。		
学科の到達目標項目との関係					
本校 (1)-a					
教育方法等					
概要	実践的な英語の運用能力を養うことを主眼とする。				
授業の進め方・方法	演習方式で授業を進める。学生は自発的に英語で表現するように心がけること。				
注意点	授業にのぞむときは、学生は必ず英和辞書を持参すること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業のガイダンス		
		2週	Unit 1 : Profile 自分を語ろう be動詞	「～です」といったbe動詞の基本的な文型を使い、人や物の役割や特徴を簡単に説明できる。	
		3週	Unit 2 : Sports 多彩だね、スポーツの世界 一般動詞(1)自動詞・他動詞	「～する」といった一般動詞の基本的な表現ができる。	
		4週	Unit 3 : Special Occasions 特別な日は誰に何をしてあげる!? 一般動詞(2)二重目的語、目的語と補語をとる動詞	「(人)に(物)を～する」「(人)を～にする」といった一般動詞の少し難しい表現ができる。	
		5週	Unit 4 : Families 家族を語ろう 人称代名詞	話し手や相手をさしたり、すでに話題に上った人、物、事について述べるときに人称代名詞を使うことができる。	
		6週	Unit 5 : Japan Quiz 日本クイズに挑戦 Wh-疑問文	WhatやWhereなどの疑問詞で始まるWh-疑問文に答えることができる。	
		7週	復習		
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	Unit 6 : Love and Marriage 恋愛はいつの時代も人々の関心事!? 過去形	「～だった」「～した」といった過去の出来事を表現できる。	
		10週	Unit 7 : Life History 今までの自分を語ろう 現在完了形(1)継続	過去の活動(過去形)と今も継続して行っている活動(現在完了形)を区別して表現できる。	
		11週	Unit 8 : Leisure 自分の経験を語ろう 現在完了形(2)経験・完了	自分や相手の経験について表現したり、尋ねることができる。	
		12週	Unit 9 : College Life 学生生活を楽しまう 進行形(現在進行形、過去進行形)	習慣的活動(現在形)と一時的活動(現在進行形)を区別して表現できる。	
		13週	Unit 10 : On Vacation 休暇の計画を立てよう 未来表現(be going to, will)	未来の予定について表現できる。	
		14週	Unit 11 : Out and About 自分の気持ちを上手に伝えるには? 助動詞(1)can, mayなど	コミュニケーションを円滑に進めるために、助動詞を使って表現できる。	
		15週	復習		
		16週	前期末試験		

後期	3rdQ	1週	Unit 12 : Rules しきたりはむずかしい 助動詞(2) must, should など	助動詞を使って、決まり事を相手に尋ねたり伝えたりできる。
		2週	Unit 13 : Folk Tales 昔話に思わぬ教訓を発見!? 接続詞(1) and, but, or, so	語と語、句と句、節と節などを対等な関係で結び付ける等位接続詞(and, but, or, soなど)を使うことができる。
		3週	Unit 14 : News & Events ニュースに敏感になろう x 受動態	「～される」といった受動態を使った表現できる。
		4週	Unit 15 : Amazing Animals 動物の世界は驚きでいっぱい 頻度を表す副詞	頻度の副詞(sometimesやalwaysなど)を使うことができる。
		5週	Unit 16 : Feelings 人間は感情の生き物だね! -ing, -edで終わる形容詞	自分の感情を表す-ingで終わる形容詞と-edで終わる形容詞の違いを理解し、使い分けができる。
		6週	Unit 17 : World Quiz 世界クイズに挑戦 原級、比較級、最上級	「一番～」 「～より…」といった比較表現ができる。
		7週	復習	
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	Unit 18 : Business この大企業の創始者は!? 基本的な前置詞(at, on, in)	基本的な前置詞を使うことができる。
		10週	Unit 19 : Environment 環境問題を解決するには? 接続詞(2) when, because, although, if	when, because, although, ifなどの従位接続詞を使うことができる。
		11週	Unit 20 : Old Sayings ことわざは面白い 不定詞と動名詞	不定詞と動名詞の用法を理解し、使うことができる。
		12週	復習	
		13週	Unit 21 : Professions 将来の職業について考えよう 関係詞(who, which, where)	人、事物、場所などを説明するのに便利な関係詞を使って表現できる。
		14週	Unit 22 : What If? 仮定の話は途方もない 仮定法(仮定法過去)	現実にはありえない、起こりそうもないことを、仮定法を使って表現できる。
		15週	復習	
		16週	学年末試験	

#### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	20	0	20	100
基礎的能力	60	0	0	20	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0